鹿市医狂壇



561

樋口　一風　選

兼題「嗅（かず）ん」

天

昭和時代賞味期限な嗅んみっ
紫南支部　二軒茶屋電停
（唱）機器いな負けん婆ん鼻メーター
（評）今みたいに食料に賞味期限を書いていなかった昭和の頃は、賞味期限や消費期限は人間の感覚に頼るしかなかったのです。舐めて確かめるのを「舌メーター」と狂句では言っていました。
嗅ぐのは「鼻メーター」とでもいうのでしょうか。
何せ確かな基準が有る訳ではないので、ただ嗅覚が頼りの判断ですから怖いです。
でも動物的な勘とでもいうのでしょうか、危険予知は弁えていたようです。

爺が嗅ん腐っちょらんな当てならじ
伊敷支部　谷山五郎猫
（唱）信用をしたや忙しか便所
（評）若い頃の父は博識で、その一言には絶対服従で間違いはなかったが、年をとった最近の父の嗅覚も、かなり鈍くなって信用できなくなってきました。
ましてや、父は戦後の食糧難を祖父に聞いているので、まず勿体無いが第一義なのです。でも偶には腹が緩むのです。
だから父の言う「大丈夫じゃ腐っちょらん」を信用したら大変なことになるので、自己責任で処理してください。
元関白には耳の痛い句です。

人

猛暑日い出された生魚嗅んみっ
上町支部　吉野なでしこ
（唱）少た心配うえなっ足の早え鯖
（評）真夏日に知人宅で釣って来たと言う魚のお刺身を出されて大丈夫とは思いながらも、なにげない素振りで一瞬嗅いでしまいました。
何せクーラーボックスに入れていたのでしょうが、炎天下の海岸にあったのですから心配です。でも大丈夫ですよ、太公望はそこらはよく心得ています。

嗅んみっこん位ら丈夫ち亭主し食せっ
五客一席　上町支部　吉野なでしこ
良か香ん洋服く嗅んで出張い奥様
（唱）相手ん好んに香水ゆ決めっ

良か羽振ゆ刑事い汚職く嗅ずまれっ
五客二席　伊敷支部　谷山五郎猫
嗅んみっ賞味期限ぬ確かめっ
（唱）婆様ん鼻あ百発百中

下着迄女房け嗅まれた朝帰い
五客三席　伊敷支部　谷山五郎猫
ケーキ屋い行けばお菓子すば爺あ嗅ん
（唱）甘党ん鼻ねな夢ん様な匂

選者吟　一風

夏の生魚には食傷をしないように、お互い気を付けましょう。人間の習性が詠まれています。

秀逸

良か香ん洋服く嗅んで出張い奥様
上町支部　吉野なでしこ
（唱）相手ん好んに香水ゆ決めっ

嗅んみっ賞味期限ぬ確かめっ
伊敷支部　谷山五郎猫
（唱）婆様ん鼻あ百発百中

ケーキ屋い行けばお菓子すば爺あ嗅ん
伊敷支部　谷山五郎猫
（唱）甘党ん鼻ねな夢ん様な匂

作句道場

今回の「嗅ん」は料理の腐敗の句が多かったが、「人の秘密を嗅ぎまわる」などあったはず。思考を広げてみましょう。

薩摩狂句鑑賞　199

薩摩狂句暦

三条風雲児著　から
（平成元年五月一日発行）

遊っ行け言どん草取ゆ止むとせじ
長瀬　ポンパッ
ほんとうにもてなす気もないのに、「寄っておいで」「お茶でも飲んでいらっしゃい」というのを、鹿児島では「えさっじょか」という。
この句もその類である。知り合いの家に、何かの用で寄ったのであろうが、「久し振りじゃないか、遊んで行けよ」と口ではいうのだけれど、草むしりを止めようとしないのである。これでは、「いや、今日はちょっと忙しい用もあるので、また来るよ」と言わざるを得ないだろう。

客が来っ女房は湯気ごみ着物を着っ
市来野　頬朗
入浴中に客がきたので、あわてて風呂から上がったのであるが、体を拭く暇ももどかしく、着物を着たのであろう。
まだ湯気の立っている体に着物をひっかける様子を「湯気ごみ着物を着っ」と表現したあたり、実に生き生きとしている。額に汗をかきながら、「どうもすみませんでした」と出てきた、気さくな奥さんの顔が目に浮かんでくる。

薩摩狂句誌「渋柿」八六五号　雑吟から
（令和八年八月一日発行）

桜島ん灰あ入道雲を突っ上げっ
中村　木強
（唱）雲も驚っマグマん勢力

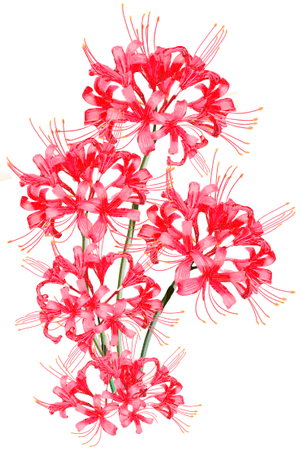
爺の運転や危ねが過疎ん貴重ね足
（唱）何処け行っかっても来易す請け合っ

亭主しゃ出張一応寂ね言て送っ
柳村　遊月
（唱）俺もじゃっどち狐と狸

濡るい児童い乗れち言われん厄介な世
井上　三ちゃん
（唱）無思慮る言えばパトカーが来っ

精霊達が来やいか心配な暑か盆
神薗　善多
（唱）クーラを掛けりゃ大丈夫じゃいが

ハラハラち赤で突っ込だ爺の運転
伊地知　孝
（唱）免許返納ん潮時かもよ



良か香んセールスレディい印鑑ぬ押っ
瀬戸口　捨禄
（唱）歳すば取ってんやっぱい男

狂句募集

◎11号
題吟「米（こめ）」
締切 令和8年10月6日（火）
◎12号
題吟「歳暮（せぼ）」
締切 令和8年11月6日（金）
◇**選　者　樋口　一風**
◇漢字のわからない時は、カナで書いてご応募くだされば選者が適宜漢字をあてていただきます。
◇応募先　〒八九二－〇八四六
鹿児島市加治屋町三番一〇号
鹿児島市医師会『鹿児島市医報』編集係
TEL　〇九九－二二六－三七三七
FAX　〇九九－二二五－六〇九九
E-mail:ihou@city.kagoshima.med.or.jp